

京都教区時報

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp>

3頁 司祭人事一覧

9頁 侍者合宿

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
FAX
075-211-3041
「教区時報」宛と明記

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまで申込みください。
TEL・FAX 0794-31-8601



時のしるし

『わたしたちの時代の人々は「真摯で真理であること」に渴いている、と言われています。

特に若者たちは虚偽と偽りを嫌い、何よりも、真理と透明さを探し求めています。

わたしたちはこの「時のしるし」に注目しなければなりません。

「あなたは自分が宣言していることを本当に信じていますか」。

彼らは、口に出すか出さないかは別として常にこのように強く問い合わせているのです。

「あなたは信じていることを生きていますか」。

「あなたは行っていることをのべていますか」。

生活のあかしは以前にもまして、真の宣教効果をあげるための本質的条件となっています。

(教皇パウロ六世使徒的勧告「現代世界の福音化について」 76)

6
2002

青谷教会創立五十周年

新たな信仰共同体をめざして

青谷教会 信徒代表 国本明文

約六ヶ月前の十月頃より遅れば
せながら準備を急いだ。

実行委員会形式でスタートした
が、何しろ信徒数が少ない教会で
す。はじめは偏ったメンバーでし
たが、会を重ねることに多くの方
が手を貸して下さり、ましてや前
日、当日となれば教会のほとんど
の仲間が手伝ってくれたことが何
よりも大きな収穫でした。

このことは教会が、共同体が何
をしてくれるのかよりも、わたし
たちが共同体のために何が出来る
のかを問う答えだったのかも知れ
ないと思います。

出席して下さった皆様方の祈り
のおかげで、初夏を思わせる晴天
の中、五十周年を祝うことができ
ました。青谷小教区としては京都
教区の多くの仲間に出席していた
だまく、十四時からのミサ時間
に設定しました。

また、ミサそのものを豊かにし
たいとの思いで、担当の北村神父
様とともにオルガンの位置を後方

より祭壇の横に配置変えもおこな
いました。また、祭壇そのものに
も気をくばり天蓋の位置、椅子の
布貼り替え、照明等も見直しまし
た。

お祝いの当日（四月十四日）は、
二三二名（子供たちも含めて）と
多くの方々の祝福をいただき、司
教ミサならびに堅信式も予定通り
進行し、特に十名の堅信の秘跡を

受けた若者たちの真剣なまなざし
が印象的でした。
式が終わり聖堂の前で全員の記
念撮影を行いました。少し狭い前
庭ではありましたが、何とか顔だけ
でも撮れていれば幸いです。

祝賀会のテーマは、田舎の教会
をイメージし、参加者それぞれが
分かち合いを出来ればと考えまし
た。うすと杵の餅つきです。みご
とに的中？ それもこれも天気に
恵まれたのが最大の要因です。餅
つきも、司教様、神父様方、堅信
の秘跡を受けた若者、等々なごや
かなうちには、豚汁、ぜんざい、少々
のアルコールでお腹も元気印にな

り、宇治教会コーラスの合唱で盛
り上げて下さり、青谷教会の全員
によるキリストの平和を手話を交
え大合唱し、共同宣教司牧の宇治
田辺、精華各教会の代表から祝辞
と、司教様の祝福をいただき、無
事に終了することができました。
最後のあとかたづけも誰彼とも
なしに、文字通り全員によるもの
でした。参加してくださった多く
の京都教区の仲間のみなさまに紙
面を借りまして改めてお礼申し上
げます。ありがとうございました。
神に感謝！！



2002年司祭人事一覧

2002年4月1日付

京都北部地区

宮津ブロック
共同宣教司牧
網野 岩瀧 加悦
丹後大宮 峰山 宮津
瀬戸高志
M. カリエ

舞鶴ブロック
共同宣教司牧
綾部 西舞鶴 東舞鶴
福知山 報恩寺
谷口秀夫
N. レサール

滋賀地区

湖西ブロック
共同宣教司牧
大津 唐崎 安曇川
瀧野正三郎
三宅秀和

湖東ブロック
共同宣教司牧
草津 甲賀 彦根 長浜
J. ジャクソン
L. ダム

京都南部地区

東ブロック共同宣教司牧
河原町 北白川 高野 山科
浅田年生 J. モンロイ F. オガンド
Y. ボアベール(協力) 小野十益(協力)
W. チネカ(協力)

北ブロック共同宣教司牧
衣笠 小山 西陣 西院
宇津 山国
花井拓夫 L. ホルスティング
P. バーケルマンス(協力)

西ブロック共同宣教司牧
桂 九条 長岡 丹波
福岡一穂 村上真理雄 W. ボルセス

希望の家
J. ロペス

南ブロック

共同宣教司牧
伏見 桃山 八幡
東門陽二郎 L. ウォルケン

共同宣教司牧
宇治 青谷 田辺 精華
北村善朗 外崎 豊 奥村 豊

教区司教 大塚喜直

司教総代理 村上真理雄

司教館氣付 上田 巖(神の園在任)、A. タバモ(日本語勉強)、森田直樹(米国留学)

奈良地区

北部ブロック共同宣教司牧
富雄 登美ヶ丘 奈良 大和郡山
松本秀友 P. ウィックス
K. ハンロン S. ニュージェント

南部ブロック共同宣教司牧
御所 西大和 大和高田 大和八木
K. タクロク J. ウォルシュ
一場 修 J. ヒル(協力)

三重地区

北勢ブロック共同宣教司牧
桑名 四日市 鈴鹿 亀山

村上透磨 A. バルデス E. モンレアル

中勢ブロック共同宣教司牧
上野 名張 津 久居
R. ネリグ P. オヘール J. ハメル(協力)

南勢ブロック共同宣教司牧
伊勢 松阪
B. ニシムラ 柳本 昭 R. ザーン

学校法人担当 小野十益

福音センター担当 外崎 豊

生涯養成担当チーム 村上透磨 松本秀友 P. ウィックス 外崎 豊

共同宣教司牧推進チーム 西野猛生(専任) 福岡一穂

青年センター担当 福岡一穂 柳本 昭 瀧野正三郎

国際協力委員会 P. オヘール(責任者) B. ロハス(滞日ラテンアメリカ人司牧専任) J. ハメル 柳本 昭

教区本部事務局 局長: 北村善朗

集会司式者、聖体奉仕者任命

(任期は四月一日から一年間)

—キリストの背丈をめざして—

らのかかわりを反省し、深める
ように。

【テーマ】ユカリスティアは教会を築く

● ユーカリスティアは教会を絶えず「築く」。聖体は、教会を内から棄ぐ。

部から笑く
テーマ【洗礼と聖体の秘跡】

を「質的」に築く。

初めて聖体奉仕者に任命された人
への一場師のお話

・ご聖体は最高の崇敬の気持ちをもって扱うように。聖ひつの鍵

は、世界のどんな鍵よりも大切である。

・服装は質素であっても暗い印象を与えない節度のあるものにす

● 聖体奉仕者は病人への奉仕が第
るようにならね。

一であり、病人司牧の勉強を心がけるようになつた。

●病人に対して、励ましと、みんなが祈ったこと、その人が神に

さきげてはいる苦しみが共同体を支えてることを伝える。

聖体祭儀は一つのお祝いである。一緒に祈ることが大切である。身頃の詩の「アーヴィングは云ふ」

・ 挑戦の時の「アーメン」は本音の信仰告白である。

全員への大塚司教の講話

典礼奉仕者

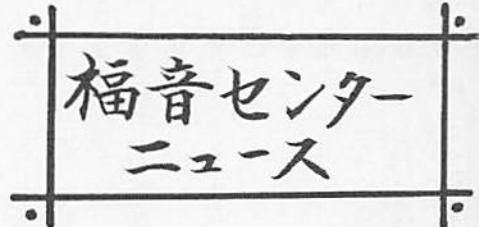
- 教会共同体は、人類共同体と共に歩む「神の民」である。
 - 教会の典礼は、この神の民を、キリストの体によって形成させ、成長させつづける。

- ・パンの増加の出来事に、イエスの共同体の設立の意図、共同体の継続的特徴を読み取ることがができる。典礼奉仕者としての自己養われる神の民】

養成コース



第19回
結婚講座



希望のしるしとなるように

この講座では、結婚の意味を社会学的、医学的そして心理学的な側面から学ぶと同時に、聖書と教会の結婚観を通じて人間の一致の基盤にせまります。

みなさんの結婚生活を、人間の深い望みである愛の一致のしるしとするために、共に学びませんか。講座のプログラムは全5回シリーズで、和やかな雰囲気の中でお二人が関わりを体験できるよう組まれています。興味のある方はどなたでもご参加ください。

講座日程	①② 7月13日（土） 10:30～15:00 ③④ 7月27日（土） 10:30～15:00 ⑤ 8月3日（土） 10:30～13:00
費 用	一人 10,000円（昼食付き）
会 場	福音センター 1F 大ホール

≪ 内 容 ≫

①【人間の創造】中山 真里 氏

旧約聖書の創世記を読みながら、人はどのように造られ、生きる根源は何かを考えます。

②【愛の契約と夫婦の絆】大塚 喜直 司教

結婚式の式次第を使い、祈りの言葉や誓いの言葉の意味を説明しながら、結婚式とは何か、神の前で二人は何を誓うのか、夫婦の絆とはどのようなものとして結ばれるのか等、教会の結婚観を紹介します。

③【かけがえのない命・性】岡村 裕 医師

人間の「からだ」というのは、「人格」や「人間らしさ」を表すものです。かけがえのない命・性を持つ人間の身体について、産婦人科医の経験からお話をいただきます。

④【夫婦の対話】Sr. 安井 昌子

共に生きていくため、二人がどのように関わっていくか、夫婦の対話の大切さを考え、良いコミュニケーションをすることを体験していただきます。

⑤【結婚という人生を生きる】島本 須美子 氏

男と女の違い、性の在り方の違いを通して、結婚という人生をどう生きてゆくかをお話します。

福音センターニュース



人が独りでいるのは良くない
彼に合う助ける者を造ろう
(創世記2:18)

「独りでいるのは良くない」と語られた神様は、現代のわたしたちをご覧になったならば、いったい何と言われるでしょう。夫の遅い帰宅を独りで待つ妻、働きに出た母親を独りで待つ子供、独り暮らしの老人、ワンルーム・マンションで独り暮らす青年、現代ほど「独り」であることが自立と混同されて市民権を得た時代はありません。けれども神様は「独りでいるのは良くない」とおっしゃるのです。なぜなのでしょう。

神様は人間を「ご自分にかたどって」造られました。三位一体という関わりの存在であるご自分に似せて人間を造られたのです。ですから人間もまた本質的に関わる存在、つまり、「あなた」と向き合ったときにはじめて自分になれる存在として造られたのです。そのことは、「神はご自分にかたどって創造された」のすぐ後に「男と女に創造された」という言葉が続いていることからもわかります。男性と女性の相互補完性は単なる役割分担ではなく、人間の本質にもとづく深い要求なのです。

そう見えてくると、「彼に合う助ける者を造ろう」と神様がおっしゃるとき、「助ける者」とは決して男性の補助的役割をする女性を意味するのではなく、パートナーとして「共にある者」、苦労多い日常を神の国にむかって歩む旅の同伴者として神様がかたわらにおかれたのです。

テレビもパソコンもパートナーにはなり得ません。いかに精巧なロボットができる人間の役割を果たしてくれても、パートナーにはなりません。心の表層を満たすだけのものが氾濫する物の世界にのめり込んでいると、こんどは心が反乱するにちがいありません。それは正常化するのです。神様がこのわたしのそばに置いてくださった人と語りあいつづけましょう。人間の努力が徒労に思えるようなときにも、男性と女性の関わりの根底には神様の祝福があることを信じながら……

福音宣教一口メモ

「信徒使徒職養成シリーズ」をご存じですか？

- | | |
|--|---|
| 福音センターでは、共同宣教司牧の理解のため
に次のような小冊子をお薦めしています。基礎的な学習資料として各教会でお使い下さい。 | シリーズ①教会と信徒
②信徒の王職・預言職・司祭職
③教会奉仕職に関するアジア会議結論
④病人司牧のために
⑤病人訪問 いやされるかかわり |
|--|---|

〒604-8855 京都市中京区壬生淵田町26 カトリック福音センター

Tel 075-822-7123 Fax 075-822-7020 Eメール fukuin@kyoto.catholic.jp

「こんにちわシスター」

聖母訪問会

宮津修道院

卷之二

卷之三



私たちは京都教区で、現在一番
北部にある女子修道院です。築百
年を越える有名なカトリック教会が
ある宮津の地に、昭和七年に招
かれて来て、いろんな経過はあり
ますが、主に教育の使徒職を通し
て奉仕してきました。

フォルニアの日本人移民をお世話する活動から始まりました。パリの外国宣教会のアルベルト・ブルトン師（後年福岡教区司教）が創立者で、日本で司牧中に渡米、西海岸での活動の後、日本人修道女等

三名のうち一名は暁星で、他の二名は小教区で、それぞれの場で弱い立場の人々を大切にしながら皆と歩みを共にしています。今わたしたちが喜んでいるのは、家族同様に七年間を歩んで来たベトナム難民の若者が、府立看護学校で自立に向け学んでいること。先の総会で「人々と自然と共に生きる」エコロジカルな生き方を、現代における神様からの招きとして会として受け取ったことです。

信徒の先生方を中心の教職員に託し、二十一世紀のミッションスクールとしてふさわしい新しい歩みをしようと、移転新校舎建築が進行中です。

で、福音宣教をめざして経営の責任を担ってきた使徒的活動の場である福祉や教育の分野の事業を直し、必要に応じて信徒の方に移管する歩みを進めてきています。

と共に帰国。一九一六年、聖母ご訪問の靈性を糧とする、初の邦人女子修道会として認可されました。

福祉の窓

カトリック聖母保育園

四十年の歩み

神の子である
一人ひとりを大切にする――

*保護者への周知（諸行事への参加を通して宗教と雰囲気につぶれる）。

この保育を推進するため特に力を入れてきた事は職員の養成です。暖かな優しい雰囲気の中で、丁寧な関わりのもと個々の人格の形成が豊かになされるようになると感じています。

さて、四十周年を迎えて、当保育園では六月十五日、大塚司教様をお迎えして記念ミサ・講演会及びささやかな感謝の集い等を計画致しております。保育園に関わって下さる方々のご支援を心より感謝しております。

平成十四年度の総主題を“漕ぎ出そう”～光の子どもと共に～として、沖の目標を目指し、全職員が一致してオールを手に力強く進んで行きたいと願つております。

地から少し西に当
に、カトリック聖
生したのは、昭和
のことでした。地
保育園が欲しい」
て、当院教会を
たボーソレイ神父
旧聖堂を改修し保
み出されたのでし
名で出発した当園
十名の園児が元気
ます。

京都の中心たる西院の地三十七年五月母保育園が誕生域の方々の「との声に応えの司祭であつた。定員六十も現在は百六に通園している開園当初よ

シスターの方の指導の元に保育が行われ、一貫して次の事を目標として来ました。

* 子ども一人ひとりを神様から
お預かりした、かねがえのな

お預かりに預かるが入るの
い存在として関わる。

*子ども一人ひとりの内面にあ

る可能性と自主性を育む。

*人的環境の整備（職員研修の全画・経営・参画・外部研修）

企画・組織・参加・外音研修
への派遣)。



侍者合宿

信仰教育委員会

今年度も、洛星の宗教研究館に宿泊しながら、小学生侍者合宿が行われました。三十九名の参加者（女子十三名、男子二十六名）とスタッフ十四名（男女のスタッフ八名、神学生一名、シスター一名、司祭三名）が、三日間を通じて典礼のことなどまらず信仰そのものに思いをはせる時を過ごしました。

基本的には例年通りの時間の中で、侍者の基本動作、祭具類の名前、聖書の書き写し、朗読の練習など。二日目には嵐山のいわた山（通称「猿山」）に遠足し、帰りに衣笠のカルメル会女子修道院におじやまし、晩の祈りと面会をしました。初めて訪れた子供も多く、シスターへのユニークな質問も飛び出し、有意義な時間を体験できました。

今年収穫であったのは、練習のときに行つた五分とか十分の沈黙による默想でした。一日目の五分を長く感じた子供がいましたが、二日目には十分の黙想を短く感じ、心の中でイエスと出会うことで

きた子供もいたようです。短い合宿の期間で子供なりの成長を果たし、大人にも難しいような信仰体験を彼らはしているのかもしれません。

ここにいくつかの感想文を紹介します。

じしや合宿

浦野裕毅

二回目の侍者合宿なのでずいぶんおちついていたが、やはりうまくいかないものだと思った。なぜなら初日からんしゃにおくれたり、侍者練習中に注意されたからだ。でも学んだこともある。まず、ごく見えてくるし、侍者中ふだん黙想したら、イエス様のことがすこく聞きてくるし、侍者もけっこう覚えた。話はとぶがおもしろかったといえど、あらし山のモンキーパークだ。サルがいっぱいいてかわいいが、見ているとおそろくところがこわかった。その日はみんなで風呂に入つて楽しめた。三月二十七日の聖香油ミサでは、

ど、成功しました。来年はこれないけど、できれば来たいと思いました。

侍者合宿

古曾志まり子

わたしは今年、初めて参加しました。

一日目、侍者の練習は入堂のし

かたでした。神父様に教えていただいて、今まで歩くはやさがはやすぎたということに気がつきました。二日目は御ミサで使う物の名前を教えていただきて、ぜんぜん知らない名前が出てきてしまいました。

ルカによる福音書を書き写しました。イエス様はシモン・ペトロに

「あなたは後、人をとる漁師になります」とおっしゃいました。それはイエス様のよう、人々が神様のお話を聞き集まつてくるという意味だとわかりました。その後、遠足で嵐山のモンキーパークへ行つて、おじさんにサルのことを教えていただきました。そしてサルに

子供たちはとても元気がよく、

ともすればうるさいぐらいの時もありましたが、聖堂内では皆真剣に練習に臨んでくれていました。

皆集中した時はすごく、朗誦の暗記などは驚きました。今回の侍者合宿で子供たちが侍者としての責任を感じ各教會で立派にやっていてほしいと思います。又自分もこの経験を生かし自分の信仰心を豊かにしていきたいと思います。

この三日間、少しの間でしたが楽しく、みんなと勉強できたと思います。来年で最後なのでぜったいに参加したいと思います。

侍者合宿に参加して

リーダー芦田泰三

充実した三日間が過ごせたのではありませんかと思います。小学校の時は習ったことをありのままに受け入れていましたが、今回は自分でしっかりと理解した上で練習などにいどめたと思います。

侍者合宿に参加して

リーダー芦田泰三

今回の侍者合宿にリーダーとして初めて参加しました。自分も小学校の時に参加したことがありましたが、その時と同じくとても充実した三日間が過ごせたのではありませんかと思います。小学校の時は習ったことをありのままに受け入れていましたが、今回は自分でしっかりと理解した上で練習などにいどめたと思います。

子供たちはとても元気がよく、ともすればうるさいぐらいの時も

あります。聖堂内では皆真剣に練習に臨んでくれていました。

皆集中した時はすごく、朗誦の暗記などは驚きました。

今回の侍者合宿で子供たちが侍者としての責任を感じ各教會で立派にやっていてほしいと思います。又自分もこの経験を生かし自分の信仰心を豊かにしていきたいと思います。

京都教区中学生会春合宿

去る四月一日から四日にかけて高の原礼拝センターにて、京都教区中学生会春の合宿が、中学生九名、リーダー七名、担当司祭二名の総勢十八名で行なわれました。今回の合宿は、「祈り」をテーマに、考え、分かち合いました。この合宿の準備段階として、「祈り」のテーマについてリーダーで話し合い、「主の祈り」の内容やいろいろなお祈りの方法などを担当司祭とともに考えました。

実際の合宿中では、中学生とリーダーがコミュニケーションを取りながら、いろいろなお祈りの方法（何について、どんな時に、どんな風にお祈りをするのか）、そして、いつもお祈りをしているのかどうかといったことをグループに分かれて分かち合いました。その中で、中学生からは、「学校で習慣になっている」「祈りを通して神様とお話ををする」「試験の前、家族・友人が病気した時にお祈りする」など、たくさんのが返っていました。中学生にとって、神さまのこと

を、同世代の仲間たちと分かち合うという機会は普段、ほとんどあ 「祈り」について楽しみながら学びあえたことは中学生だけではなく、リーダーにとってもすばらしい体験でした。今回の経験を生かしながらリスト者として成長していくたいと思います。

これからも中学生会では、年三回の合宿を通して、担当司祭・青年リーダー・中学生がさまざまな体験を共有し、分かち合い、育成されることに重点をおきながら、進めたいと思っています。

○中学生参加者の声

- 楽しかったです。夏もゼッタイ来るので待って下さい。
- ハイキング疲れたけど楽しかつたです。
- 初めて来たのでドキドキでした。すっごくおもしろかったです。

(木) の予定です。
八月二十日(火)～二十二日
次回の合宿は

中学生会リーダー

良書紹介

雨宮 慧 著

『主日の福音ABC年』
オリエンス宗教研究所

主日の福音の解説については、高橋重幸「主日の聖書」（オリエンス）は、聖書と典礼の専門家である師の簡潔な福音解説であり、また森司教様の「日曜日の説教集ABC年」が女子パウロ会から出版されており、その日のみことばのテーマが美しく簡潔に指摘されていて、まずお勧めしたい本である。

さて、雨宮師の、「主日の福音」を私が特に重宝し、参考にしているのは、その言葉の持つ意味と文章構成（構造）に現れる、福音のメッセージについての解説である。

師がこの書を表すに際し、後書きに「『聖書を読むことは礼拝である』というヘブライ大学のサフライ教授の言葉に衝撃を受け、自分が日頃おぼろげに感じていたことを言い当ててくれたように思え、嬉しく思った。聖書を本当に神のことばとして読みたい」と書いておられる。私は自分の言葉を語るのではなく、神のことばそのものを聞き、それを伝えたい。具体的な体験的解説は、それ以後に生まれるものであり、語る人よりみことばを聞いている人の中に具体的な答として表れるべきだと考えている。そのため雨宮師の解説は私に大きな光を与えてくれるものとなっている。使われている言葉をよりよく理解し、文章構成を理解し、語らわれている出来事の背景を知ることは、メッセージの意味を理解することに役立つ。出来事の「コト」と言葉の「コト」は共にギリシャ語でレーマと呼ばれる。聖書が語る出来事の「コト」を知ることになる。その「コト」を出来るだけ啓わすことが本書の目指すところと思われる。

お
知
ら
せ

修道会

修道会から

福音センターから

◆養成コース▼祈り一天におられる私たちの父—21日(金)16時

～23日(日)15時半 唐崎ノートルダム修道院 講師 松本秀友師、シスター安井昌子

教区委員会から

◆聖書委員会▼聖書深読15日(土)新井延和師10時～16時

原町会館6階 費用二千五百円(昼食代を含む)、持参品 聖書・筆記用具・ノート(お申込みは5日前までに)▼聖書講演会16日

（日）13時半～16時 場所河原町教会地下ホール 講師 鈴木信一

師(パウロ会)テーマ「パウロの福音理解」—私たちにとって福音とは—会費五百円▼聖書講座シリーズ「一〇〇匹の羊の群れ—聖書に見る福音宣教共同体—」5・6日中川博道師、12・13日松本秀友師、19・20日新井延和師、26・27日西経一師

◆典礼委員会▼教会の祈りと聖体贊美式 第一日曜日17時半河原町教会、主日のミサと教会の祈り第三土曜日16時半 衣笠カルメル

16日(日)
◆西陣教会▼信睦二金会 第二金曜日10時15分

教育関係施設から

◆黙想会▼テーマ「主よ、祈ることを教えて下さい」29日(土)17時～30日(日)13時 宇治カルメル会聖テレジア修道院 指導奥村一郎師 対象 信徒 費用七千円、申込み 23日までに電話045(321)0500(佐野)

◆公開講座▼テーマ「新しい福音宣教を考える」8月7日島本要大司教、8日大塚喜直司教 河原町教会地下ホール 問い合わせ電話086(273)2294 NCK事務局まで

◆滋賀カトリック協議会▼例会23日(日)13時半 彦根教会

◆奈良カトリック協議会▼ファミリーデー2日(日)13時半 野外礼拝センター 司祭、修道者、信徒(日本人と滞日外国人)がファミリーとして集い、ともに祈り、親しく交流します。

◆京都力ナの会▼結婚相談室、例会2日(日)13時半 河原町会館6階ホール

◆JOC▼集会22日(土)19時30分～21時 京都働く人の家(九条教会前)フリーター、働く予定のある青年も歓迎します。問合せ090(8207)1831

◆糠みその会▼例会27日(木)19時45分九条教会ホール

◆レジオ・マリエコミチウム日(日)河原町会館6階ホール

◆「一万匹の蟻運動」基金報告累計三三一、四八二、一八七円

◆京都力ナの会▼結婚相談室、例会2日(日)13時半 河原町会館6階ホール

◆三重カトリック協議会▼例会2日(日)13時半 河原町会館6階ホール

◆京都カトリック混声合唱團▼練習日9日(日)14時、22日(土)19時 いすれも河原町会館6階▼

◆河原町教会▼結婚記念祝別ミサ3月10日に開催しましたチャリティー

コンサートへの暖かいご支援を、ありがとうございました。収益金はホーチミン市ストリートチルドレン友の会とインドのカルメル修道会の学校運営のためにそれぞれ二十万円お送りしました。

◆京都キリストン研究会▼定例会第4、第5木曜日10時～12時 河原町会館6階ホール

◆コーエチエラスティ▼練習第2、第4、第5木曜日10時～12時 河原町会館6階ホール

◆在世フランシスコ会▼京都兄弟会15日(土)13時半 フランシスコの家

◆聖ビンセンシオ・ア・パウロ会▼例会(河原町協議会)9日(日)河原町教会▼京都中央理事会23日(日)河原町教会

◆糠みその会▼例会27日(木)19時45分九条教会ホール

◆レジオ・マリエコミチウム日(日)河原町会館6階ホール

◆「一万匹の蟻運動」基金報告累計三三一、四八二、一八七円

◆京都力ナの会▼結婚相談室、例会2日(日)13時半 河原町会館6階ホール

◆シスター樽角ウメ(ショファイユの幼きイエズス修道会)が4月22日帰天されました。84歳でした。

大塚司教の

6月のスケジュール

2日(日)奈良ファミリー・デミサ 13時半	4日(火)教区幼稚園連盟園長会 時半	5日(水)東京カトリック神学院養成担当者会議 中央協議会	6日(木)中央協議会・責任役員会 中央協議会	9日(日)三重地区・南勢ブロック 共同宣教司牧 ミサと集会 伊勢教会	10日(月)~12日(水)司祭・修道士研修会 (唐崎メリノールハウス)	15日(土)聖母保育園創立40周年記念ミサ、講演 (西院教会)	16日(日)滋賀地区・湖東ブロック 共同宣教司牧 ミサと集会 彦根教会 17日(月)~21日(金)2002年度定例司教総会(中央協)
25日(火)教区カトリック学校連絡会 14時	26日(水)教区協議会書記局会議 18時	27日(木)司教顧問会・責任役員会 10時	29日(土)教区カトリック協議会 14時	30日(日)京都南部地区・西ブロック 共同宣教司牧 司教訪問 問ミサと集会 青少年委員会 18時			
25日(火)河原町ミサ(司教靈名) 10時半	26日(水)教区協議会書記局会議 14時	27日(木)司教顧問会・責任役員会 10時	29日(土)教区カトリック協議会 14時	30日(日)京都南部地区・西ブロック 共同宣教司牧 司教訪問 問ミサと集会 青少年委員会 18時			
25日(火)河原町ミサ(司教靈名) 10時半	26日(水)教区協議会書記局会議 14時	27日(木)司教顧問会・責任役員会 10時	29日(土)教区カトリック協議会 14時	30日(日)京都南部地区・西ブロック 共同宣教司牧 司教訪問 問ミサと集会 青少年委員会 18時			

23日(日)河原町ミサ(司教靈名)
10時半

青年センターと私

土岐仁美

皆さん、はじめまして。この度、四月から青年センターの専従をさせていただくことになりまし

た、何も分らない私ですが、

セントラルを支えていきたいと思

いますので、これから的一年間

よろしくお願ひします。

私がセントラルを知ったのは、昨年の十月頃でしょう。自分

の生活は、これでいいのかなあ

と思い、自分自身信仰を持ちな

がら、今までなかつたカトリッ

ク信者の人々との交わりが欲し

いと思い、教区時報にアドレス

が載っているのを思い出して、

アクセスをしたのが始まりでし

た。そして、セントラのHPを

見つけて、メールをしました。

その時初めて、センターの活動

を知りました。

その後、何日か経つてセントラ

へ行き、そこで初めて、紀ちゃん

と太郎君に会つたのです。そ

れからは、たまにセントラに行

くようになり、聖書深読や默想

会などにも誘ってもらい、他の

青年たちにも会うことが出来てとても嬉しかったです。

私は、もっと多くの青年たちと交わりたいと思っていました。

これも、神様から頂いた縁だと

思います。これから一年間の専従職の中、たくさんの青年たちに出会い、たくさんのこと体験し、学ぶことと思います。そして、今までの専従者が作りあげてこられたことを生かしながら、この青年センターを支えていきた



◎神の国は来ている

開心し、改心し、回心し

戒心し、革新し、改悛し

快心し、回進し、改進するか

カンシン カンシン さあカイ

◆編集部から

お知らせに載せたい情報は、8

月号でしたら6月17日までに、F

A Xまたはhepushu@kyoto.catho

lic.jpにお願いします。

電話075(822)6246

◆青年センターの開館時間

火・土曜日

十四時~二十一時

日・月曜日 休館

センターへお越しの際は、ご

一報ください。

青年センターアンテナ